

かみぼし NEWS



ふるさと日立検定 問題に挑戦!

問

市役所裏に「桜塚」と文字が刻まれた石碑の立つ場所があります。これはどなんいわれの
あるところですか。(答えは8ページへ)

- ① 昔から塚があり、桜がたくさん植えられていた
- ② 「角彌太郎が桜を植えた」ことを忘れないようにと石碑を立てた
- ③ 子どもの公園として建設され、桜が1200本植えられた

CONTENTS

■ 常議員会／ベストセレクション認定品 …………… 2	■ ふるさと日立検定 答えと解説 …………… 8
■ 会議所の動き …………… 3	■ 第61回日立さくらまつり開催 …………… 9
■ 会員交流会開催 …………… 4	■ 容器包装リサイクル法 …………… 10
■ 文化産業部会特集 …………… 5	■ 会議所インフォメーション／国県市からのお知らせ …… 11
■ LOBO調査第3四半期 …………… 6	■ 日商コラム／魂に響く書 …………… 12
■ 相談所だより …………… 7	



発行所 ● 日立商工会議所 〒317-0073 日立市幸町1-21-2
 発行人 ● 鈴木昇 購読料 ● 200円 (購読料は会費の中に含まれています)
 TEL 0294-22-0128 FAX 0294-22-0120 ホームページ <https://www.hitachicci.or.jp/>

日立商工会議所 検索





2月の常議員会

2月27日、常議員会を開催しました。協議事項として、1月の新入会員(別記)、大規模小売店舗「薬王堂日立日高店」出店届出に係る意見(案)について承認(追認)しました。その他として、山縣会頭から新入会員募集について出席者に依頼がありました。また、

高橋工業部会長から1月28日に実施した「技能五輪全国大会入賞者慰労会」について、塙会員サービス委員長から、2月19日に実施した「会員交流会」についての報告がありました。

新入会員紹介 (別記)

FRIVA GARDEN

(フレイヴォガーデン)

(日用品インターネット販売)

東大沼町1丁目

株式会社ウカルン

(教育業/ネット検定等)

平和町1丁目



日立市地域ブランド認定品

『ベストセクションひたち』に ◆ 新商品が仲間入り ◆

日立市地域ブランド推進協議会では、日立市の優れた産品を、市内外にPRし、応援していくため、「ベストセクションひたち」を認定しています。2月に行われた審査会では、令和7年度認定品として2商品が認定されました。



玉だれまんじゅう

玉栄堂平山菓子店(東河内町)
1個税込 140円

玉簾の滝からの湧き水で作られたとされる昔懐かしい粒あんのおまんじゅうです。小ぶりで塩味がしっかりきいていて後味すっきり。玉簾寺参拝の際に昔からお土産として親しまれています。



茂宮はくさい

常陸農業協同組合
(大和田町/栽培:茂宮地区)1個税込 - (時価)

シャキシャキとした食感と甘みが特徴で、茂宮かぼちゃの連作として栽培しています。中質土壌での栽培で11月~1月まで収穫でき、久慈川と茂宮川に挟まれた沖積土壌で育ち、肉厚ながら筋が少ないため、浅漬や漬物、冬の鍋料理には最適です。

日立商工会議所の動き **2**月

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 2月 2日 | 経営安定特別相談室 (他2日、2/5、2/13) | 2月18日 | 交通運輸業部会議員協議会
情報化委員会
交通運輸業部会セミナー「法改正等により厳しくなる
運送業界の現状と今後について」
観光委員会 |
| 2月 3日 | 伴走型個別相談
専門相談 | 2月19日 | 産業振興対策委員会
文化産業部会正副部会長・運営委員合同会議
会員交流会 |
| 2月 4日 | ベストセクションひたち認定審査会 | 2月20日 | 会員サービス委員会
花見茶屋出店者説明会
商業部会議員協議会 |
| 2月 5日 | 事業承継対策講座 (他1日、2/12) | 2月22日 | 第172回簿記検定試験 |
| 2月 6日 | 正副会頭会議
正副会頭と部会長・委員長会議 | 2月24日 | 経営安定セミナー「生成AIで経営課題を見える
化する実践型ワークセミナー」 |
| 2月 8日 | 第236回珠算能力検定試験 | 2月27日 | 常議員会 |
| 2月 9日 | 新春講演会 | | |
| 2月10日 | 無料法律相談 | | |
| 2月16日 | 金融財務業部会会議 | | |
| 2月17日 | 運営委員会
工業部会議員協議会
工業部会セミナー「製造業課題解決セミナー」
建設業部会議員協議会
観光環衛業部会議員協議会 | | |

経済安全保障の専門家に聞く国際情勢

2月9日、前参議院議員の佐藤まさひさ氏に登壇いただき、新春講演会を開催しました。佐藤氏は、自衛隊海外派遣(国際平和協活動)のゴラン高原、イラク復興支援の初代隊長として部隊を率いた経験を持ち「ヒゲの隊長」として知られています。外交・安全保障政策の専門家として活動しており、日々の報道では捉



えきれない諸問題を、現場経験に根ざした知見から精緻に解説いただきました。

人手不足解消に向け、海外人材や生成AIの活用を学ぶ

2月17日、工業部会は製造業の人手不足解消に向けたセミナーを開催しました。当日は2部制で、オンラインと会場を併用したハイブリッド形式で実施。総勢29名が参加しました。第1部では、茨城県外国人材センターによる支援策と、注目度が高まるインド人材の採用について、茨城県就職支援センターによる日本人向け就職支援を紹介し、第2部では、生成AIを業務に活用する具体的な方法を解説しました。



物流2024年問題で進む法改正

2月18日、交通運輸業部会は、社会保険労務士・行政書士の瀧澤学氏を講師に招き、働き方改革関連法に関する講習会を開催。取適法(改正下請法)、自動車運送事業者に対する行政処分等の基準改正、改正貨物自動車運送事業法(2025年4月施行)、改正物効法、トラック適正化二法など、2024年問題に絡む多



くの法改正について、労務管理上、事業者が知るべき事項について詳しく解説いただきました。

生成AI 実践で学ぶ活用術

2月24日、当所はケーブルテレビJWAYの寺家通浩氏を講師に迎え、生成AIを活用する実践型セミナーを開催しました。講師は、ChatGPT「o3」はIQ150を超える一方、明確な指示が無いと動けない社会経験のない新人のようなもの。良い回答を得るには適切なプロンプト(指示)が重要だと説明。資料作成、画像生成、通訳などの活用例や著作権上の注意点を紹介し、参加者は持参した端末で複数の生成AIを試しながら使い方を学びました。



日立商工会議所 会員交流会開催

2月19日、ホテル テラス ザ スクエア日立において、会員サービス委員会主管による会員交流会を開催し、103事業所から162名が参加しました。当日は、シンガーソングライターのマシコタツロウ氏によるアトラクション「トーク&ミニコンサート」や、県内食材を使ったコース料理が供された懇親会、地元産品が当たる抽選会の3部構成で行いました。埴会員サービス委員長は、それぞれのビジネスにつながるよう交流を是非深めてほしいと話し、会場内では活発な名刺交換や、和やかに懇談する様子が見られました。



「いやどうも!」ではじまったトークショーは、なじみ深い茨城弁で。ライブの際には、会場の皆さんで「タオル回し」。会場の一体感を高め、このあと会場内での交流へとつながりました。



アトラクション後の会場の様子。会場内各所での名刺交換、会員間での交流を深めていました。



ホテル テラス ザ スクエア日立様には、県内食材を使ったコース料理をご用意いただきました。食事中にカウントダウンが始まり、開いた扉の向こうで燃え上がる炎。迫力ある演出とともにステーキが提供されました。



お土産に、地元会員事業所の地場産品が当たる抽選会を行いました。ご当選の皆様、おめでとうございます。

埴会員サービス委員長

仕事を進めるうえで、良好な関係性を築くことは欠かせません。多くの会員事業所が人脈づくりを求めており、当委員会では、その機会となる交流の場を継続的に設けています。今後も会員交流事業を積極的に実施してまいりますので、会員事業所の皆さまにはぜひご参加いただき、ネットワーク拡大にお役立てください。



文化産業部会特集

日立商工会議所の会員は、業種別に7つの部会に所属します。このページでは、2月末現在で379会員が所属する文化産業部会の活動を紹介します。文化産業部会(郡司部会長)は、土業、不動産関連業、介護医療福祉、教育関連他、広範な業種構成で、その特色を活かし、身近で幅広い知識の習得や、地域課題等についての情報交換の機会を設け、事業を通じた会員同士の交流を進めています。

目 立市の空き家施策に関する勉強会を開催



8月21日、当部会では、日立市の人口減少に関わる課題の一つとして空き家問題を取り上げ、日立市役所都市建設部、住政策推進課空き家対策室担当者から、当市の空き家対策に関し説明いただく機会を設けました。

一昨年には日立市内で、空き家を狙った連続放火事件も発生しており、空き家の防犯上のリスクが改めて浮き彫りとなりました。日立市の令和3年の調査(最新)では、市内の空き家件数は、7,319戸であり、5年前の調査から1.5倍に増加。日立市では、相談体制の整備、周知広報(意識啓発)、流通・利活用の促進、補助金制度の創設等の対策を行っています。シルバー人材センターによる空き家管理サービスの活用や、空き家対策に使える制度・補助金についても説明されました。

また行政は、特定の事業者を紹介できないため、空き家オーナーと事業者とをつなぐ仕組みが求められており、空き家対策をビジネスに繋げる可能性も示されました。



施 設の再生・活用事例を視察

3月3日には、「石切山脈(笠間市稲田)」と「クヴェレ美術館(水戸市泉町)」の視察を行いました。

「石切山脈」は、笠間市稲田の採石場周辺を「プレミアムツアー」として案内する取り組みです。ツアーでは、ガイドが稲田石の特徴や採石現場、採石方法などを詳しく説明しており、観光として楽しめるだけでなく、学びの要素も備えた内容となっていました。

「クヴェレ美術館」は、水戸市泉町の三菱UFJ銀行として使われていた建物に併設された、歴史ある建物を文化施設として再生した「テツ・アートプラザ」の一角です。明治時代から残る貴重な建物を今後も残すため、また人々の集う場所として地域に開かれた場所となりました。施設の各エリアでは、思い思いに過ごす様々な世代の人々が見られ、すでにこの施設が人々に親しまれている様子が見受けられました。

文化産業部会では、今後も事業を通じた会員間の交流と、地域課題や身近な話題等について学ぶ機会の提供を行ってまいります。機会がございましたら、ぜひご参加のほどよろしくお願いいたします。



1909年に旧川崎銀行水戸支店として建てられた西洋風の建物を、イベントスペースとしても活用できるホールに改修。

稲田石は国会議事堂、日本銀行、日本橋などで使われてきた強度の高い建材で、採石の際には山頂から地下へ向かって切り出す「露天掘り」が行われます。その跡地にたまる湧き水は、深い場所では水深50メートルに達し、白く輝く岸壁(稲田石は白長石を62%含み、さらに石英を含有する)を背景とした景観は「地蔵にない湖」として紹介されています。



クヴェレ美術館(令和8年2月14日オープン)地域にゆかりのある横山大観・小川宇錢・中村興・板谷波山などによる美術工芸をはじめ、シルククロードにちなむ工芸や日本の古陶磁等が展示されています。(開館記念展「1300年の美の交差点近代日本画と東洋陶磁」)

■■■ 令和7年第3四半期 ■■■

L O B O 調 査


日立商工会議所早期景気観測調査

【調査期間】
令和7年10月～12月


【調査時期】
1月(四半期ごとに実施)

【回収件数】
78/100件


<景気判断指数>




きわめて好調
(DI値≥30)




好 調
(30>DI値≥10)



普 通
(10>DI値≥▲10)



不 振
(▲10>DI値≥▲30)







きわめて不振
(▲30>DI値)

※景気判断指数(DI値)は、調査項目の増加(好転・不足)の回答割合から、減少(悪化・過剰)の回答割合を引いた値であり、ゼロを基準としてプラスの値の場合は、景気の上向きを表す回答が多く、マイナス(▲)の値の場合は景気の下向きの回答が多いことを示します。したがって売上等の上昇率を示すものではなく、景気の強気・弱気等の景況感の相対的な広がりを含みます。

>>第3四半期調査概要

令和7年10月～12月における全産業の業況は、マイナス20.5ポイントで前回調査時よりも6.9ポイント回復しました。製造業・小売業・サービス業では、前回調査時より回復しましたが、建設業は悪化しました。向こう3カ月の見通しとしては、全産業と製造業で回復、建設業とサービス業で横ばい、小売業で悪化を見込んでいます。

>>業種別景況判断

	<p>製造業(▲9.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共・民間工事の動向。物流単価の上昇・運転手不足。(建築資材製造業) ● (株)日立製作所国分工場で生産していた日立型式中形変圧器を日立産機中条事業所で継承したため、今後の事業展開や受注量に影響。(電気機械器具製造業) ● 物価上昇分の価格転嫁が、一部で進まない。(輸送用機械器具製造業) ● 顧客(自動車、電機メーカー)より、トランプ関税によるマイナスの影響が出始めている旨の話をよく聞くようになった。(ソフトウェア開発業)
	<p>小売業(▲33.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年末のガソリン価格が下がったことの影響がどう出てくるか、期待感がある。米価の価格が以前高止まりであり、集荷、卸、流通で今後の見通しに違いも多く不安が多い。賃金の上昇分も含め原材料の高騰の価格転嫁の難しさが話題となっている。(食品製造小売業) ● 原材料高騰が止まらない。2027年問題で蛍光灯製造終了にともない、店舗・冷蔵ショーケースの蛍光灯をLEDへの交換が必要になり経営を圧迫してくると思われる。(菓子製造小売業) ● 食料品の消費税減税対応が必要になる(本決まりになった場合)。(食品スーパー) ● 株値上昇の一方で円安が進んでおり、景気好転の兆しは全く感じない。それどころか、原油価格の上昇に伴う原材料の上昇でマイナス要因ばかり。地元企業の稼働低下が進む状況では業績の回復は見込めないのが現状。(燃料小売業) ● 中学校部活動地域移行の開始年度(完全移行)。(スポーツ用品販売業) ● 日立製作所の家電部門のこれからの明確になっていない。(家電販売業)
	<p>建設業(▲22.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土木工事では、国土交通省工事が年度末に大量発注の見込み。建築工事も官民ともに大型工事が発注される計画がある。(総合建設業) ● 資材の値上がり。労働者の確保。(土木工事業) ● 原材料の高騰。新入社員の確保。(塗装工事業) ● 工事発注数の減少により売上確保が難しい。(塗装工事業)
	<p>サービス業(▲16.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 元請け物流会社が荷主に対しての、運賃値上げ交渉が全く進んでいない。(物流業) ● 食料品消費税0%が飲食業に及ぼす影響。(飲食業) ● 20代のパーマスタイルが増えているのが良い傾向である。(理容業) ● 物価高の影響が新築棟数減少によって、防蟻工事受注が減少している。薬剤単価は上がるが、工事単価は上げることが難しい。(害虫駆除業)

※調査結果の詳細は、日立商工会議所ホームページからもご覧いただけます。